

関電系、京都市内に大型物流施設

関西電力グループの関電不動産開発は9日、京都市伏見区で物流施設を開発すると発表した。住友商事とSMFLみらいパートナーズとの共同事業で、関電不動産開発の「KRDL Logistics」ブランドとなる。12月に建設に着手し、完成は2027年夏を予定している。複数の企業が利用する4階建てのマルチテナント型で、延べ床面積は約5万2000平方メートル。京滋バイパス「久御山インターチェンジ（IC）」から約1・8キロ、第2京阪道路「巨椋池IC」から約800メートルに位置する。